

— 2 DAYS INTERNSHIP / 高専生向け

ロボットに 「判断力」を、 2日間で設計する。

ロボットは、もう動きます。難しいのはロボットが自分で判断すること。

このインターンでは、製造業の現場課題を1つ選び、ハードウェアの選定からAI・アルゴリズムの設計まで、フィジカルAIのソリューションをチームで丸ごと提案してもらいます。

DATE

2026.10.17 (土) – 10.18 (日)

両日 10:00 スタート

DAY1 10:00–17:00 / DAY2 10:00–16:30 (終了後、任意参加の懇親会あり)

「動かすだけ」から、「考えて動く」工場へ。

私たちAirionは、VLM・VLAといった最新のAIモデルを使って、製造業のロボットに判断力を与える仕事をしています。自律除草剤散布ロボットの開発、ラダープログラムを読み書きするAI、検査工程の自動判定AI——いずれも、「現場の何が困っているのか」を突き止めることから始まっています。

この2日間は、その仕事のいちばん面白いところを、まるごと体験してもらう時間です。手を動かすのが好きな人、仕組みから考えるのが好きな人。ぜひ本気で来てください。

Airion株式会社

WHAT YOU GET

この2日間で、持ち帰れるもの

4つの体験

01

実機とフィジカルAIに、直接触れる

実機デモを目の前で。センサ入力から判断、アクションまでの流れを、現場で実装しているエンジニアが解説します。「論文で読んだ手法が実機で動く」までの距離感がつかめます。

→ 「動く仕組み」を、実物とコードの両側から理解する

02

「選ぶ」力を鍛える

ハードもアルゴリズムも、正解は1つではありません。コスト・精度・安全性の制約の中で構成を選び、その理由を言葉にする訓練をします。実務のエンジニアが毎日やっていることです。

→ 技術選定を「理由つきで」語れるようになる

03

提案が、本気で評価される

学生向けの優しい講評はしません。「その提案は実務で通るのか」という目線で、代表とエンジニアからフィードバックします。2日間で最も密度が高い20分です。

→ 実務の評価軸を、自分の提案で体験できる

04

エンジニアと2日間まるごと過ごす

東大発スタートアップの現役エンジニアが、講義・レビュー・昼食・懇親会までずっと同じ場所にいます。技術も進路も、聞き放題です。

→ 「この仕事の日常」を、2日間の距離で確かめられる

WHO SHOULD JOIN

とにかく手を動かしたい人

ロボコン、研究、個人制作。何かを動かしてきた経験がある人。

仕組みから考えたい人

「なぜこの構成なのか」を突き詰めるのが好きな人。

産業の現場に興味がある人

工場やインフラなど、リアルな現場をAIで変えた人。

DAY

01

2026.10.17 (土) 10:00 - 17:00

インプットの日。フィジカルAIの作り方を学び、解くべき課題を見つけるところまで進みます。

10:00

- 10:30

30 min

OPENING アイスブレイク～会社紹介 河村

まずは肩の力を抜くところから。Airionがどんな会社で、何を「新しい当たり前」にしようとしているのかを、代表の河村から直接お話しします。

10:30

- 11:00

30 min

MEET 参加者自己紹介

学校・専攻・これまで作ってきたもの・これから作りたいもの。2日間チームで動く仲間を知る時間です。

11:00

- 11:15

15 min

DEMO 実機デモ

ロボットが「考えて動く」様子を目の前で。センサ入力からモデルの推論、アクションまでの流れを実物で確認します。

11:15

- 12:45

90 min

LECTURE 講義：フィジカルAIの作り方

VLM・VLAとは何か。ロボットに判断力を与えるとはどういうことか。ハードウェアの選定基準、データの集め方、モデルの選び方まで、現場で実際に使われている考え方をまとめて解説します。午後のワークで武器になる回です。

12:45

- 13:00

15 min

Q&A 質疑応答・休憩

講義でモヤッとしたところを潰してから午後へ。

13:00

- 14:00

60 min

LUNCH 昼食

エンジニア陣も同席します。技術のこと、進路のこと、なんでも聞いてください。

14:00

- 14:15

15 min

BRIEF ワークショップ説明

お題・提案に含める3レイヤー（課題定義／ハードウェア選定／AI・アルゴリズム手法）・評価の観点を共有します。チーム発表もここで。

14:15

- 15:45

90 min

WORK 1 ワークの時間：リサーチ

現場課題の特定と要件の言語化。「誰の、どの工程の、どんな困りごとを解くのか」を決めきります。この解像度が最終提案の質をほぼ決めます。

15:45

- 16:00

15 min

REVIEW 中間レビュー

社員が各チームを回り、課題設定の解像度をチェック。方向性のズレは、早いうちに直します。

16:00

- 17:00

60 min

WORK 2 ワークの時間：リサーチ

ハードウェア候補とAI手法候補の洗い出し。DAY2に持ち込む「たたき台」をここで作ります。

17:00 DAY1 終了

インプット ワーク・発表 レビュー 休憩・交流

DAY
02

2026.10.18 (日) 10:00 - 16:30

アウトプットの日。技術選定を詰め、提案として成立させ、発表しきるまでを一気に走ります。

10:00

- 11:30

90 min

WORK 3 ワークの時間:提案を作り込む

課題 → ハード構成 → AI・アルゴリズムの筋を一本に通します。「なぜその構成を選んだのか」を説明できる状態を目指す時間です。

11:30

- 11:45

15 min

REVIEW 中間レビュー

技術的な実現性について、社員から遠慮なく突っ込みが入ります。ここで拾った指摘が、発表の質を大きく変えます。

11:45

- 13:00

75 min

WORK 4 ワークの時間:提案を作り込む

レビューの指摘を反映して提案を仕上げます。抜けている前提や、コスト・安全性の検討をここで埋めます。

13:00

- 14:00

60 min

LUNCH 昼食

発表前の最後の休憩。詰まっているところは、この場でエンジニアに相談してもOKです。

14:00

- 15:00

60 min

PREP 発表準備

スライドと話す順番の整理、役割分担、そしてリハーサル。伝わる順番に組み替えるだけで、提案の説得力は変わります。

15:00

- 16:00

60 min

PITCH 発表

全チームがプレゼンテーション。技術選定の理由に対して質疑が入ります。他チームの発表も、そのまま学びになります。

16:00

- 16:20

20 min

FEEDBACK 講評

代表・エンジニアから各チームへフィードバック。「この提案を実務で通すには、あと何が足りないのか」まで踏み込みます。

16:20

- 16:30

10 min

CLOSING クロージング

2日間のまとめと、ここから先の話。

16:30 DAY2 終了

17:00 -

60 min 程度

OPTIONAL 懇親会(任意参加)

17:00~18:00 ごろ。参加は自由です。キャリアの話や、講評では聞けなかったこと、研究のことなど、リラックスして話しましょう。

— インプット — ワーク・発表 — レビュー — 休憩・交流